



エコタイムズ



エコアクション21中間審査

8月18日,19日の2日間にわたりエコアクション21中間審査が行われました。

本社,尼崎事業所,工場,和歌山・現場(ごうど)リモートで実施され、ガイドライン要求事項に対し適合とされ無事終わりました。ご協力いただきましたみなさまありがとうございました。

～審査結果～



◎【評価できる点】

- ・現場では環境経営方針が掲示され、工程監理、安全監理、緊急事態への対応、廃棄物分別などが確実に実施されていることが確認できました。協力会社とのコミュニケーションも良く監督の信頼性を実感しました。
- ・本社では水道ホースのストップノズル、サーキュレータ、業務上のミスロス削減などエコアクションが認識されていました。
- ・和歌山では外国人研修生語学力向上、個人の技術、技能についてランク分けや定量評価することで「技術力アップ、技術者養成」につながることを理解いただきました。

✔【改善すべき点】

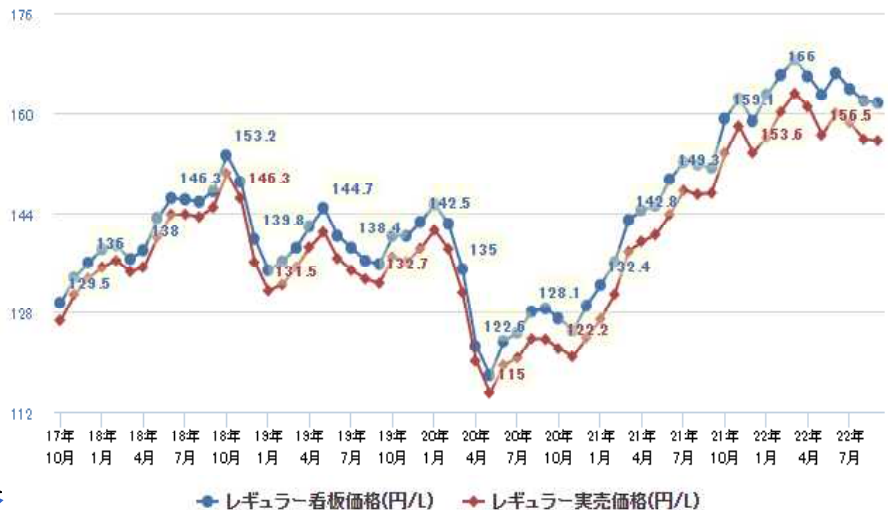
- ・自動車燃料によるCO2排出量は66%で当社にとって重要な削減負荷。車両入替（ハイブリッド、電動）や台数削減も考慮する。
- ・公的資格、社内資格について部門ごとに事業計画に見合った必要資格をリストアップして取得計画をする。部門ごとに必要なスキルを抽出してランク評価できるような仕組みを検討する。

●ガソリン価格の高騰…

2020年よりガソリン価格は高騰し続け、2022年には160円代にもなりました。主な要因は、原油価格の高騰、ウクライナ情勢の影響、円安。日本は原油の輸入を約99.7%と、輸入に依存しています。そのため新型コロナウイルスからの需要回復しつつある世界経済の影響も大きく関わってきます。今後も高値水準が続き、一般家庭にも大きく圧迫する可能性があります。



5年間のレギュラー価格



※e燃費より出典